

## ✈ 海外生活 だより

シンガポール事務所

# 緑豊かなシンガポールでの 自転車散策

(一財)自治体国際化協会シンガポール事務所所長補佐  
金子 忠正(山口県山口市派遣)

### はじめに

シンガポールは、国土面積718.3km<sup>2</sup>と東京23区と同程度の面積しかない小さな島国ですが、そのコンパクトな国を住みよい美しいまちにするために政府は「City in a Garden (緑に囲まれた都市)」を掲げ、シンガポールを緑豊かな街並みにするための取り組みが行われています。また、チャイナタウンやリトルインディア、アラブストリートなど多民族国家としてさまざまな文化を感じることもできる街並みもたくさんあります。

そのシンガポールの魅力的な街並みを自分の目で確認したいとの思いから、元々興味があった自転車を思い切って購入し、体力づくりも兼ねてシンガポールの街並み探検や国内に点在する都市公園を散策しようとサイクリングをはじめました。



ウォーターフロント沿いの歩車道

### シンガポールの自転車事情

シンガポールでは、バスや地下鉄など公共交通機関が発達しており、運賃も初乗りで1シンガポールドル弱(約66円)からと安く利用できます。また、熱帯雨林気候で年中暑いということもある

ため住民が生活の手段として自転車に乗っている姿をあまり目にすることはありません。

しかし、週末になると街中や公園などでサイクリングとして自転車を楽しむ人々を多く見かけます。

今回は、シンガポールで気軽にサイクリングを楽しむことのできる公園やパーク・コネクター・ネットワーク、サイクリング事情についてご紹介します。

### パーク・コネクター・ネットワークとは

シンガポールには350以上もの都市公園があり、シンガポール国民の8割以上が住むHDB住宅(日本で例えると公団住宅)の周辺の公園は地域住民の日常生活での憩いの場となっています。

シンガポール政府は都市緑化政策の一つとして、その公園同士をジョギングやインラインスケート、サイクリングができるよう街路樹のある遊歩道・自転車道で結ぶ緑のネットワーク「パーク・コネクター・ネットワーク」の整備を行っています。2013年時点では全長200kmが整備され、2020年までには360kmのネットワークが完成する予定です。

### サイクリングにおすすめの公園

国立公園庁(Nparks)のホームページでは各公園の特色やパーク・コネクター・ネットワークなどが紹介されており簡単にお気に入りのサイクリングコースを見つけることができます。その中でも私のおすすめは、シンガポール南東の海岸沿いに位置し、年間700万人以上が訪れるEast Coast Parkです。

東西約15kmに広がる砂浜の海岸が公園となっており、キャンプサイトやバーベキューサイト、飲食店、釣り用の桟橋、シーカヤックの体験施設などがあり、週末になると子どもから大人まで多くの人で賑わいます。また、園内には1周42kmのサイクリングコースがあり、歩行者と自転車・インラインスケート専用の遊歩道が分かれており、アップダウンもなく走りやすく初心者でもゆっくりとサイクリングを楽しむことができます。コース沿いにはチャンギ空港があり、離発着する航空機を間近に見ることもできます。

また、公園内は貸自転車屋も数軒あり、1人乗り用や2人乗り用の自転車のほか、家族5～6人乗り用などの自転車の貸し出しを行っています。さらに来年2016年には、子ども向けのウォーターパークも建設予定でさらに多くの利用者が予想されます。



浜辺のサイクリングを楽しむ人々

## サイクリングは早朝がベスト

シンガポールの夜明けは1年を通して午前7時ごろです。サイクリングを楽しむ人は、街中の車が少なくまだ暑くない夜明け前から行動を開始します。そのため暗がりの中で安全を確保するための前方用のライトと後方用のライトは必須アイテムです。

また、シンガポールにはサイクリングを楽しむサークルがいくつもあり、インターネットで簡単に検索し参加することができます。私が参加するサークルの集合時間はだいたい午前6時で、夜明け前の車の少ない街中を颯爽と通り抜け、パー

ク・コネクターの遊歩道や公園内でのサイクリングを楽しみます。帰りは多民族国家シンガポールの文化や街並みに触れることのできるチャイナタウンやリトルインディアなどを通してゆっくりと帰るのが定番となっています。

## スコールで一休み

シンガポールの気候は4月から9月までが乾期で10月から3月までは雨期にあたりますが、1年を通してスコールが降ります。サイクリング中にいきなり雲行きが怪しくなりスコールが1～2時間続くこともあります。そのときは雨が止むまで公園内の東屋や軒下で待つしかありません。小さな東屋で雨が止むのを待っている間、初対面同士で自転車について話をするのも楽しい時間へと変わるときもあります。



公園内の東屋で雨宿りする人々

## さいごに

シンガポールは国土も限られ、ほかの東南アジア諸国と違い自転車が普及している国ではありませんが、サイクルショップなどで聞くと、健康志向の高まりに伴いサイクリング人口は年々増えているそうです。また、初心者向けから上級者向けまでさまざまなサイクリングサークルやサイクリング大会が開催されています。これからも体力アップとサークル仲間同士のコミュニケーションツールとしての語学力アップのため、時間が許す限りサイクリングを楽しみたいと思います。

【参照資料】  
 国立公園庁 (Nparks) ホームページ：  
<https://www.nparks.gov.sg/>